

1 第2 沖縄県の現状

2

3 1. 人口

4

5 本県は、距離にして東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域に散在する琉
6 球諸島の島々から成っており、中核市である那覇市をはじめ41の市町村があります。

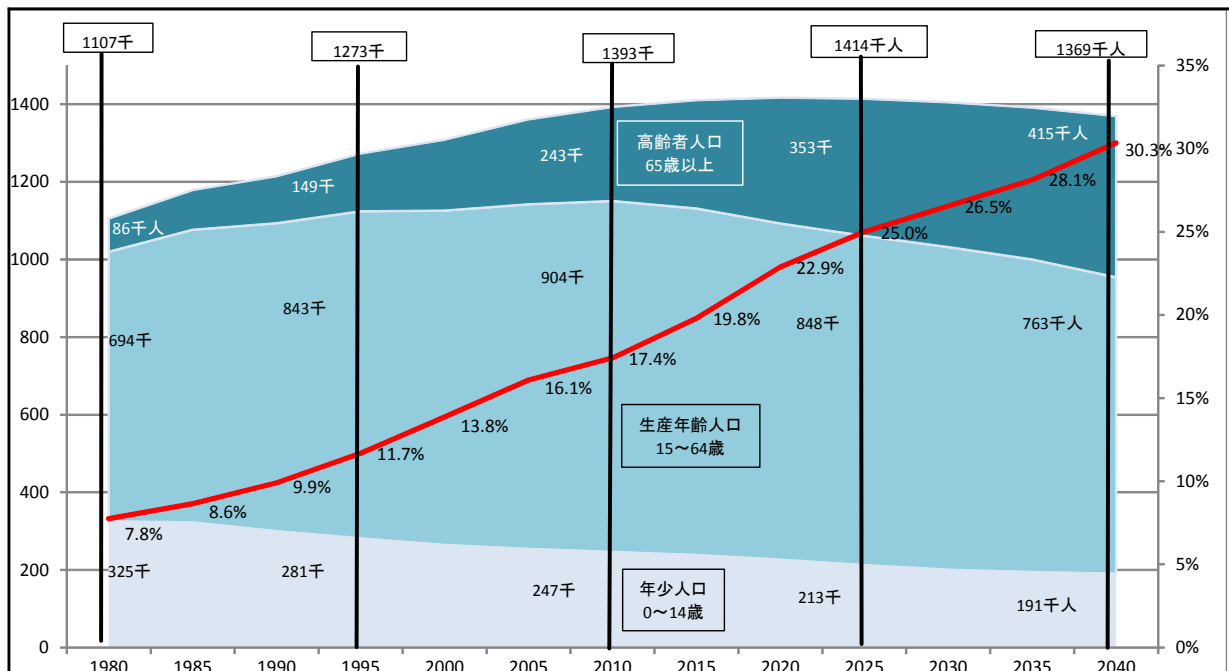
7 平成27年国勢調査(総務省統計局)によると、沖縄県の総人口は143万3,566人となっ
8 ており、平成22年調査より2.9%増加しています。

9 また、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」(平成25年3
10 月推計)によると、沖縄県の総人口は平成32(2020)年まで増加を続け、その後は緩やか
11 な減少傾向で推移する見込みとなっています。全国的には平成27年国勢調査から人口
12 が減少に転じているなかで、本県は人口が増加している数少ない都道府県のひとつで
13 す。

14 年齢3区分別にみると、年少人口(14歳以下)は昭和55(1980)年以降は減少が続き、
15 生産年齢人口(15～64歳)は平成22(2010)年をピークに減少することが見込まれていま
16 す。一方で、高齢者人口(65歳以上)は増加を続け、平成52(2040)年には41万人を超え
17 ると見込まれています。高齢化率は平成27(2015)年は19.8%であり、全国の26.8%に比
18 べ低い状況にありますが、平成37(2025年)に25.0%、平成52(2040)年には30.3%に上昇
19 すると予測されています。平成22(2010)年の高齢者人口を100とした場合、平成52(2040)
20 年の高齢者人口は全国が131であるのに対し本県は171であり、今後急速に高齢化が進
21 行していきます。

22

23 図2-1 沖縄県の人口推計



24

※2010年以前は国勢調査人口、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計人口

25 表2-1 沖縄県の人口と高齢化率の推計

(単位：千人)

		2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (平成32年)	2025年 (平成37年)	2030年 (平成42年)	2035年 (平成47年)	2040年 (平成52年)
沖縄県	65歳以上	242.5	279.3	324.0	353.4	373.0	391.1	415.4
	15～64歳	903.8	892.6	866.4	848.3	831.2	804.9	763.4
	14歳以下	246.5	238.4	226.4	212.5	200.7	194.8	190.6
	総人口	1,392.8	1,410.3	1,416.9	1,414.2	1,404.9	1,390.8	1,369.4
	高齢化率	17.4%	19.8%	22.9%	25.0%	26.5%	28.1%	30.3%
	高齢者人口 伸び率(指数)	100	115	134	146	154	161	171
参考 (全国)	高齢化率	23.0%	26.8%	29.1%	30.3%	31.6%	33.4%	36.1%
	高齢者人口 伸び率(指数)	100	115	123	124	125	127	131

26 ※高齢化率：総人口に占める高齢者(65歳以上)人口の割合

27 ※高齢者人口伸び率：2010年の高齢者人口を100としたときの高齢者人口の指数

28

29

30 2. 高齢者単身世帯

31

32 高齢者の単身世帯が今後増加することが予測されており、平成47(2035)年の本県の
33 高齢者(65歳以上)の単身世帯数は平成22(2010)年の約2倍となり約4万世帯の増加、全
34 世帯数に占める割合も8.1%から13.8%に増加すると予測されています。

35 特に85歳以上の単身世帯の増加は大きく、平成47(2035)年は平成22(2010)年の約3
36 倍、約1万2千世帯増加すると予測されています。

37

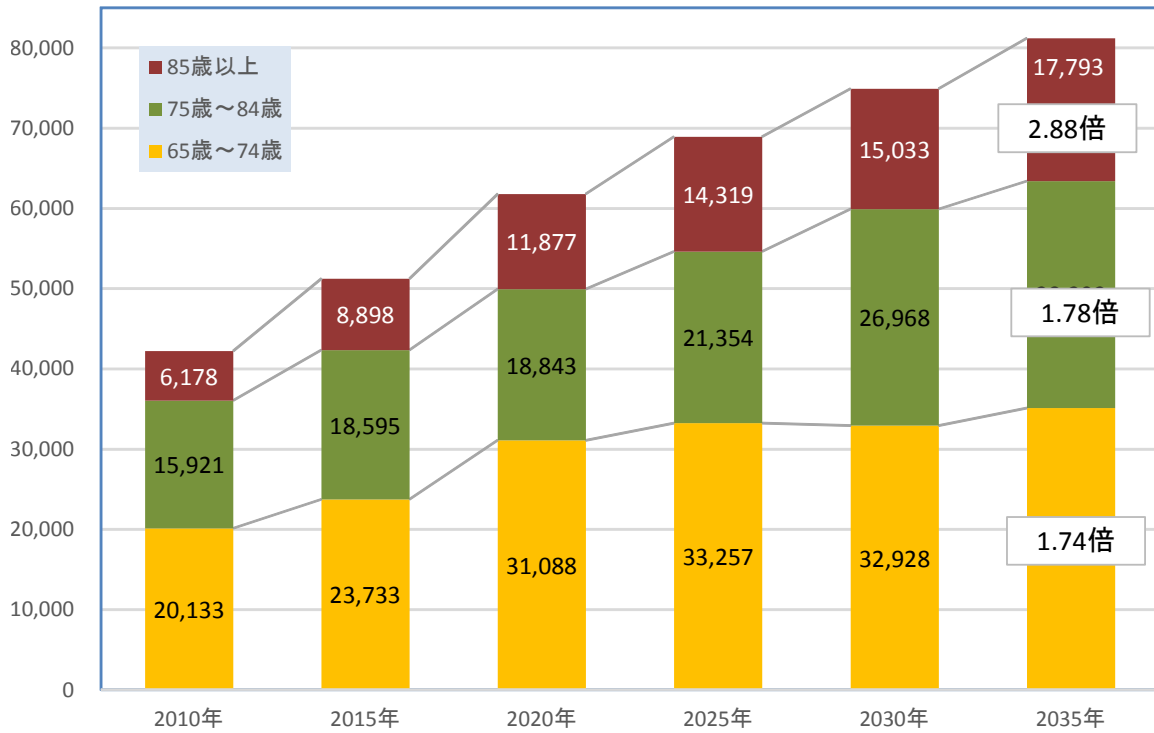
38 表2-2 沖縄県の総世帯数に占める高齢者世帯数の割合

(単位：世帯数、%)

	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年
全世帯数	519,188	549,468	569,151	580,781	586,872	587,318
高齢者(65歳以上)単身世帯	42,232	51,226	61,809	68,929	74,929	81,210
全世帯に占める割合	8.1%	9.3%	10.9%	11.9%	12.8%	13.8%
うち75歳以上単身世帯(再掲)	22,099	27,493	30,720	35,673	42,001	46,084
全世帯に占める割合	4.3%	5.0%	5.4%	6.1%	7.2%	7.8%
うち85歳以上単身世帯(再掲)	6,178	8,898	11,877	14,319	15,033	17,793
全世帯に占める割合	1.2%	1.6%	2.1%	2.5%	2.6%	3.0%

39 ※国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」(平成26年4月推計)

40 図2-2 高齢者単身世帯数の推移



41

42

43 3. 医療資源

44

45 (1) 医療施設数

46

47 医療施設は病院・診療所ともに人口の多い中部・南部圏域に集中してお
 48 り、両圏域で県全体の施設数の約8割を占めています。

49

50 表2-2 医療施設数 (平成27年医療施設調査)

(単位: 施設数)

	病院	診療所		歯科診療所	
		有床	無床	有床	無床
沖縄県	80	94	794	2	613
北部	9	6	57	0	42
中部	23	21	200	0	185
南部	41	52	477	1	337
宮古	4	8	29	1	25
八重山	3	7	31	0	24

61

※精神単科を除く。

分野	拠点名	北部	中部	南部	宮古	八重山	合計
救急	救急告示病院	3	4	14	2	2	25
	救命救急センター	0	1	2	0	0	3
災害	基幹災害拠点病院	0	1	0	0	0	1
	地域災害拠点病院	1	1	4	1	1	8
周産期	総合周産期母子医療センター	0	1	1	0	0	2
	地域周産期母子医療センター	1	0	3	1	1	6
がん	がん診療連携拠点病(県)	0	0	1	0	0	1
	がん診療連携拠点病院(地域)	0	1	1	0	0	2
	がん診療連携支援病院	1	0	0	1	1	3
へき地	へき地医療拠点病院	1	1	3	1	1	7
在宅	在宅療養支援病院	1	4	7	0	0	12
	在宅療養後方支援病院	0	1	3	0	0	4
医療連携	地域医療支援病院	2	3	5	0	0	10

63

64

65 (2) 病床数

66

67 人口当たりの一般病床の整備状況を見ると、沖縄県全体は全国並みとなってい
68 ます。圏域別に見ると、宮古、北部圏域は全国平均を上回り全国の約1.5倍、一
69 方で中部圏域は全国平均を下回り全国の約75%となっています。

70 療養病床の整備状況を高齢者人口当たりで比較すると沖縄県は全国平均の1.4
71 倍となっています。圏域別に見ると、八重山圏域以外は全国平均を上回っており、
72 特に北部圏域は全国の2倍の病床数となっています。

73

74 表2-4 一般病床数(平成27年医療施設調査)

75

(単位:床)

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

	一般病床			総人口 10万人対
	病院	診療所		
全国	893,970	107,626	1,001,596	791.2
沖縄県	9,571	982	10,553	748.3
北部	1,060	48	1,108	1,107.3
中部	2,640	181	2,821	579.8
南部	5,022	616	5,638	784.5
宮古	487	105	592	1,145.9
八重山	362	32	394	739.7

※総人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

表2-5 療養病床数（平成27年医療施設調査）

（単位：床）

	療養病床			高齢者人口 10万人対
	病院	診療所		
全国	328,406	10,657	339,063	998.7
沖縄県	3,828	168	3,996	1,430.9
北部	496	0	496	2,077.5
中部	1,374	45	1,419	1,533.0
南部	1,654	113	1,767	1,266.0
宮古	216	10	226	1,760.3
八重山	88	0	88	845.7

※総人口は国立社会保障・人口問題研究所 2015年推計人口

（3）病床利用率と平均在院日数

一般病床は全国平均より病床利用率が高く、平均在院日数は短い状況となっています。特に病床利用率は全国平均を10ポイント近く上回っています。圏域別に見ると、病床利用率が最も低い北部圏域と最も高い中部圏域では約25ポイントの差があり、平均在院日数については、最も長い北部圏域と最も短い八重山圏域では8.6日の差があります。

療養病床は全国平均より病床利用率が高く、平均在院日数も長い状況となっています。平均在院日数については圏域間の差が大きく、最も短い八重山圏域は全国平均の約50%、宮古圏域は2倍超となっており、両圏域間で約5倍の差があります。

表2-6 病床利用率と平均在院日数

圏域	病床利用率(%)			平均在院日数(日)		
	全体	一般病床	療養病床	全体	一般病床	療養病床
全国	80.3	74.8	89.4	29.9	16.8	164.6
沖縄県	87.6	83.7	92.6	31.1	16.2	178.8
北部	75.6	64.7	92.2	43.8	23.2	168.7
中部	91.2	89.8	93.8	31.9	15.4	160.2
南部	89.3	86.6	91.7	29.7	15.7	202.5
宮古	79.0	73.9	90.1	32.3	20.2	391.5
八重山	68.2	67.1	98.5	20.0	14.6	77.8

出典：平成26年病院報告

130
131
132
133
134
135
136
137
138
139

(4) 医療従事者数

人口当たりの病院の医療従事者数を見ると、医師については全国平均を上回る数が確保されています。歯科医師、薬剤師は全ての区分で全国平均を下回っています。

表2-7 医師、歯科医師、薬剤師数及び人口10万人当たり従事者数
(平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査)

(単位:人)

	医師				歯科医師				薬剤師			
	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院・診療所従事者	薬局従事者	その他
全国	311,205	194,961	101,884	14,360	103,972	12,141	88,824	3,007	288,151	54,879	161,198	72,074
沖縄県	3,552	2,517	915	120	844	70	749	25	2,109	538	1,323	248
北部	194	130	54	10	48	1	46	1	108	34	71	3
中部	954	709	227	18	231	11	217	3	533	147	345	41
南部	2,209	1,562	565	82	493	55	422	16	1,356	324	838	194
宮古	101	60	33	8	39	3	33	3	53	17	29	7
八重山	94	56	36	2	33	0	31	2	59	16	40	3

※人口10万人対

	医師				歯科医師				薬剤師			
	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院従事者	診療所従事者	その他	総数	病院・診療所従事者	薬局従事者	その他
全国	244.9	153.4	80.2	11.3	81.8	9.6	69.9	2.4	226.7	43.2	126.8	56.7
沖縄県	250.0	177.1	64.4	8.4	59.4	4.9	52.7	1.8	148.4	37.8	93.0	17.4
北部	191.3	128.2	53.2	9.9	47.3	1.0	45.4	1.0	106.5	33.5	70.0	3.0
中部	194.5	144.6	46.3	3.7	47.1	2.2	44.2	0.6	108.7	30.0	70.3	8.4
南部	304.6	215.4	77.9	11.3	68.0	7.6	58.2	2.2	187.0	44.7	115.5	26.7
宮古	191.5	113.8	62.6	15.2	74.0	5.7	62.6	5.7	100.5	32.2	55.0	13.3
八重山	178.5	106.4	68.4	3.8	62.7	0	58.9	3.8	112.1	30.4	76.0	5.7

140

人口当たりの病院のその他の医療従事者数(常勤換算)については、視能訓練士以外の職種については全国平均を上回る数が確保されています。

圏域別で見ると、ほぼ全ての職種で宮古・八重山圏域の従事者が全国平均を下回る状況となっています。

表2-8 病院のその他の医療従事者数

(単位:人)

	医療従事者数(常勤換算)					
	看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	言語聴覚士
沖縄県	10,003.8	1,992.2	1,007.3	807.5	19.7	225.5
北部	818.4	125.5	70.6	73.0	1	16.5
中部	3004.8	592.4	337.9	292.7	2.0	80.6
南部	5614.6	1178.5	557.8	420.8	15.7	119.6
宮古	293.4	63.1	16.0	9.0	1	4
八重山	272.6	32.7	25.0	12.0	0	4.8

	人口10万人対医療従事者数(常勤換算)					
	看護師	准看護師	理学療法士	作業療法士	視能訓練士	言語聴覚士
全国	604.1	106.9	52.1	31.3	3.1	10.6
沖縄県	704.0	140.2	70.9	56.8	1.4	15.9
北部	807.0	123.7	69.6	72.0	1.0	16.3
中部	612.7	120.8	68.9	59.7	0.4	16.4
南部	774.1	162.5	76.9	58.0	2.2	16.5
宮古	556.4	119.7	30.3	17.1	1.9	7.6
八重山	517.7	62.1	47.5	22.8	0.0	9.1

出典:平成26年病院報告及び人口動態調査より算出

4. 病床機能報告の報告結果

(1) 病床機能報告制度

病床機能報告制度は、地域医療構想の策定や医療機能の分化・連携を推進するにあたり、地域の医療機関が担っている医療機能の現状の把握、分析を行う必要があるため、医療機関が毎年、自らが担っている機能を都道府県に報告する制度として、医療法改正により平成26(2014)年に新たに導入されたものです。

病床機能報告制度で報告する内容は、医療機関が有する病床の現状と将来(6年後及び平成37(2025)年時点)の病棟単位の病床機能、構造設備、人員配置等に関する項目及び具体的な医療の内容に関する項目など、多岐にわた

181
182
183
184
185
186
187

ります。

病床機能報告の報告結果を参考にしながら、地域の医療機関の実情を把握し、地域医療構想の実現に向けた取り組みを進めていきます。

なお、病床機能は高度急性期・急性期・回復期・慢性期の4区分から選択し報告することと定められており、各病床機能の考え方は以下のとおりです。

表2-9 病床機能の考え方

区 分	病床機能の考え方
高度急性期	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能
急性期	急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能
回復期	急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能。特に、急性期を経過した患者に対し、ADL（日常生活における基本的な動作を行う能力）の向上や在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に提供する機能
慢性期	長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能。長期にわたり療養が必要な重度の障害者（重度の意識障害者を含む）、筋ジストロフィー患者又は難病患者等を入院させる機能

188
189
190
191
192
193
194
195
196
197
198
199

(2) 病床機能報告の報告病床数

平成27(2015)年における本県の地域医療構想の対象となる病床数（詳細は第3に記載）は13,923床となっており、病床機能報告ではそのうち13,879床について報告がありました。報告された病床数は表2-9のとおりです。

最も多い病床機能は急性期で全体の約半数を占めています。一方で、回復期機能が最も少なく全体の11%にとどまります。

また、平成27年7月1日現在、618床が1年以上稼働していない非稼働病床と報告されています。

200

201

図2-9-1 病床機能報告の報告病床数（平成27(2015)年）

202

203

204

205

206

207

208

209

210

211

212

213

214

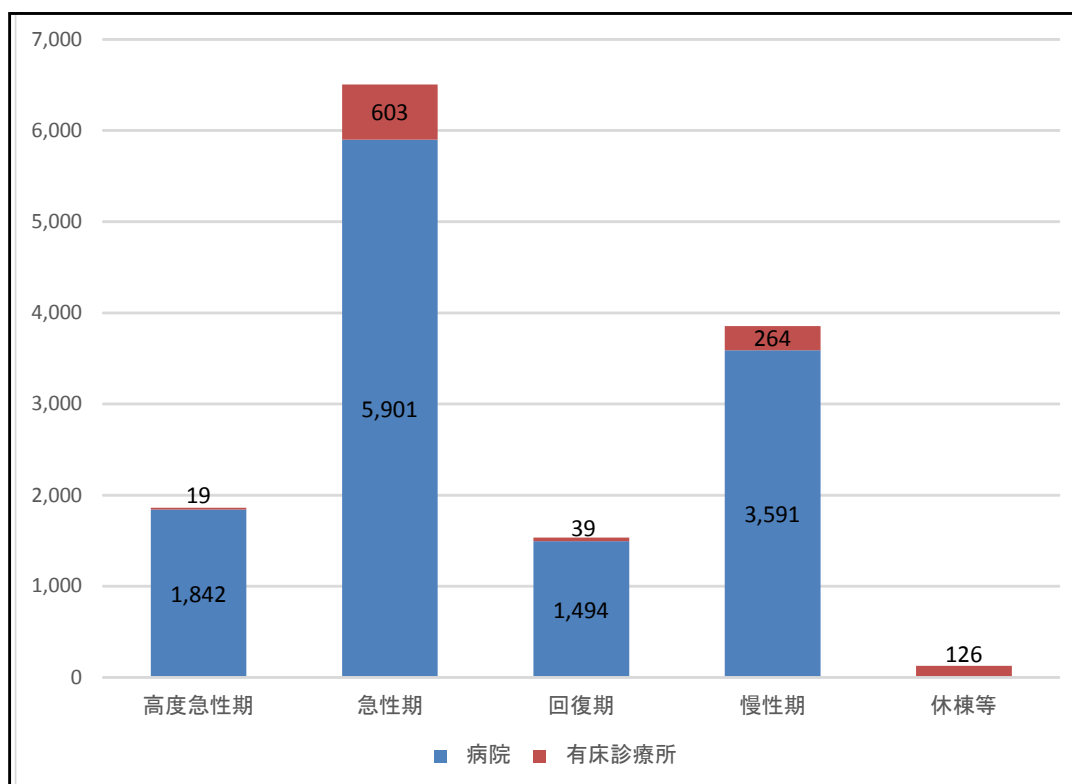
215

216

217

218

219



220

(単位：床)

221

222

223

224

225

226

227

228

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
許可病床ベース	1,861	6,504	1,533	3,855	126	13,879
うち病院	1,842	5,901	1,494	3,591	0	12,828
うち有床診療所	19	603	39	264	126	1,051
(構成割合)	13.4%	46.9%	11.0%	27.8%	0.9%	100.0%

229

表2-9-1 病床機能報告の報告病床数・稼働状況別（平成27(2015)年）

230

(単位：床)

231

232

233

234

235

236

237

238

239

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	合計
稼働病床	1,758	6,258	1,498	3,747	0	13,261
うち病院	1,739	5,792	1,487	3,505	0	12,523
うち有床診療所	19	466	11	242	0	738
非稼働病床	103	246	35	108	126	618
うち病院	103	109	7	86	0	305
うち有床診療所	0	137	28	22	126	313

240

241

242 ※なお、病床機能報告制度の内容については、以下のことに留意する必要
243 があります。

- 244 ・ 病床機能報告は病棟単位の報告であることから、複数の機能を担っている
- 245 場合も1つの機能を選択して報告することとなっています。
- 246 ・ 病床機能に係る定量的な基準が定まっていなため、各医療機関の自主的
- 247 な選択に任されています。

248 そのため、病床機能報告制度は今後の機能分化・連携の検討、進捗評価を
249 行うための目安として活用していくこととします。

250

251

252 5. 療養病床・介護保険施設等

253

254 沖縄県の療養病床及び介護保険施設等の定員数については、高齢者人口あ
255 たりでみると、全国平均より多く整備されています

256

257 表2-8 療養病床及び介護保険施設等定員数（高齢者人口千人あたり）

	療養病床		介護老人福祉施設		介護老人保健施設		有料老人ホーム		サービス付き高齢者住宅		計	
	(床)	順位	(人)	順位	(人)	順位	(人)	順位	(戸)	順位		順位
全国平均	10.7	—	16.2	—	11.2	—	9.9	—	5.1	—	53.1	—
沖縄県	15.3	11	16.8	25	15.2	6	17.1	4	8.4	1	72.7	1

出典：地域医療構想策定ガイドライン

※厚生労働省調べ

療養病床：平成25年医療施設調査

介護老人福祉施設定員、介護老人保健施設定員：平成25年介護サービス施設・事業所調査（平成25年9月末日時点）

有料老人ホーム定員：平成24年社会福祉施設等調査（平成24年10月1日時点）

サービス付き高齢者住宅定員：（一社）すまいづくりまちづくりセンター連合会より（平成26年10月時点）

人口：平成25年総務省人口推計

258